

Istanbul Weekly vol.6-no.13

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2017年4月7日（金）

— 今週のポイント —

- 政治：** 国民投票に関する世論調査結果。
チャヴシュオール外相とティラーソン米 국무長官が会談。
- 経済：** 2016年のGDP成長率、2.9%。
3月の輸出、前年同月比19%増加。
インフレ率、3月に2008年以来の最高値。
- 治安：** クルチダヴォール CHP 党首：AKP 内のバイロック使用者隠蔽を許すな。
- 軍事：** トルコ軍参謀本部、ユーフラテスの盾作戦の結果を発表。
エルドアン大統領、シンジャールでの新しい軍事作戦に言及。
- 社会：** ミニバス、タクシー、ドルムシュにも監視カメラ。
中国人旅行者がタクシーで2キロ、280リラの請求を受ける。

政治

【内政】

●エルドアン大統領、クルチダヴォール CHP 党首の発言を批判

3日、エルドアン大統領は、クルチダヴォール CHP 党首が昨年7月のクーデタ未遂事件を「(政権によって)コントロールされたクーデタであった」と述べたことを強く批判し、「証拠書類があれば、示してみよ」と反発した。

(4月4日付M紙1面)

●国民投票に関する世論調査結果

(1) 世論調査機関 ORC 社は4日、全国各県で行った世論調査結果を発表。イスタンブールでは、賛成票が55%で、反対票が45%となった他、アンカラで賛成票が先行、イズミルでは反対票が先行する結果となった。(4月4日付M紙インターネット版)

(2) 世論調査機関ゲジジ社は6日、全国各県で行った世論調査結果を発表。賛成票が53.3%、反対票が46.7%との結果となった。同社が2月に行った調査では反対票が先行していたが、今回の調査で賛成票が逆転した。(4月6日付T24インターネット版)

●エルドアン大統領、2019年の大統領選挙に意欲を示す

5日、エルドアン大統領は、全国の地区長(ムフタル)を集めて行った第37回目の会合で、国民に対してビジョンを示せない政治は将来のトルコには不要であると述べるとともに、(国民投票の可決を前提に)「2019年の大統領選挙に向けて自分は今から準備を始めている」と述べた。

(4月6日付M紙1面)

【外交】

●チャヴシュオール外相とティラーソン米 국무長官が会談

3月30日、アンカラを訪問したティラーソン米 국무長官とチャヴシュオール外相が会談を行った。同終了後の共同記者会見でチャヴシュオール外相は、オバマ前政権が示してきたPYD/YPGへの姿勢に苦言を呈しつつ、トランプ政権では「良い協力を期待する」と述べた。また、ギュレン指導者の引き渡しを改めて求めるとともに、トルコ・米国関係は今後ますます重要であると強調した。(3月31日M紙インターネット版)

●NATO 外相会合にチャヴシュオール外相が出席

3月31日、ブリュッセルで開催されたNATO外相会合にチャヴシュオール外相が出席した。同会合では、NATO域内のテロ対策やウクライナ情勢等が協議された他、チャヴシュオール外相は、ドイツ、デンマーク等の各国外相との間で二国間会談を実施した。(4月1日付H紙インターネット版)

●エルドアン大統領、プーチン露大統領との間で電話会談

4日、ロシアのサンクトペテルブルク市内の地下鉄でテロ事件が発生したことを受けてエルドアン大統領は同日プーチン大統領に電話し、犠牲者への弔意を伝えるとともに、今後のテロ対策での協力関係の強化を協議した他、シリア情勢について、アスタナ及びジュネーブにおける両交渉プロセスを推進していくこと等を確認し合った(4月5日付M紙インターネット版他)

●イラク・キルクークでのクルド旗の掲揚に関するトルコ政府対応

トルコ系に近いとされるトルクメン人の居住が多いと指摘されるキルクークでクルド自治政府の旗が掲揚された問題で、トルコ政府はクルド自治政府側に強く反発。エルドウルム首相は3日、この問題でクルドの旗の掲揚を許可しないとしたイラク政府の決定を強く支持すると述べた。また、エルドアン大統領は4日、「クルドの旗を直ちに降ろすべき」と強い口調でクルド側を非難した。(4月3日付

H 紙インターネット版他)

経済**【マクロ経済】****●2016 年の GDP 成長率、2.9%**

統計庁の発表によると、2016 年の GDP 成長率は 2.9%。同年第 4 四半期の成長率は、消費支出増加が追い風となり、予想を上回る 3.5%となった。シムシェッキ副首相は、2016 年の経済成長率は予想を上回るものであり、経済は極めて早く回復していると評価するとともに、4 月の国民投票後には、政府の投資、輸出及び雇用の促進政策により経済活動がより活性化するであろうとの見通しを述べた。(3 月 31 日付 HDN 紙インターネット版)

●3 月の経済信頼感指数、上昇

3 月の経済信頼感指数は、前月比 5%上昇し 96.1 となった。2 か月連続の上昇。建設、サービス、消費、不動産部門の信頼感指数の増加が影響した。(3 月 31 日付 HDN 紙 10 面)

●2 月の貿易赤字額、拡大

統計庁の発表によると、2 月の貿易赤字額は前年同月比 15%増加し 36 億 9000 万ドル。輸出コストの上昇が影響した。輸出額は同 1.9%減少し 121 億 2000 万ドル、輸入額は同 1.6%増加し 158 億 2000 万ドル。(3 月 31 日付 HDN 紙インターネット版)

●トルコ、EU の 5 番目の貿易相手国に

EU 統計局のデータによれば、2016 年のトルコと EU との貿易額は 1450 億ユーロで、EU の貿易額全体の 4.2%。EU への輸出額は対前年比 8.3%増加し 667 億ユーロ、EU からの輸入額は同 13%減少し 780 億ユーロ。EU の最大の貿易相手は米国で、中国、スイス、ロシアと続く。(3 月 31 日付 HDN 紙 10 面)

●3 月の輸出、前年同月比 19%増加

トルコ輸出業者協会 (TIM) の発表によれば、3 月の輸出は前年同月比 19%増加し 136 億ドル。3 か月連続の増加。品目別では自動車は 27 億ドルで最も多く、既製服 (15.3 億ドル)、化学製品 (15 億ドル) が続く。地域別には、アジア、EU への輸出がそれぞれ同 44%、20%増加した。(4 月 3 日付 HDN 紙 11 面)

●インフレ率、3 月に 2008 年以来的最高値

統計庁の発表によると、3 月の年間インフレ率は 2008 年 10 月以来最高となり、対前年同月比 11.29%に達した。酒類とたばこが 21.71%と最も上昇し、輸送 (交通) 費の 17.69%等がこれに続いた。月間インフレ率は 1.02%で、衣料品及び靴が 1.99%と最も上昇し、食料品及びノンアルコール飲料の 1.93%がこれに続いた。

投資家のムアメル・コムルジュオール氏は、コアインフレは上昇し続けていると述べた。一方で、ゼイベキジ経済相は、5 月までにはインフレ率は 10%台以下に低下するとの見通しを述べた。(4 月 4 日付 HDN 紙 10 面)

【企業等の動き】**●イスタンブールの病院プロジェクトに日本の銀行から 1.5 億ドルの融資**

ルネッサンス・ホールディングのエルマン・イリヤック会長は、官民連携事業方式 (PPP) で行われるイスタンブールのイキテルリ病院建設プロジェクトについて、5 月には日本の銀行から 1.5 億ドルの融資を受ける予定であり、この病院は世界最大の病院の 1 つになるであろうと述べた。(4 月 4 日付 M 紙インターネット版)

●欧州復興開発銀行 (EBRD) のアグリビジネス支援

欧州復興開発銀行は、トルコで豆や米を家族経営で生産するヤイラ・アグロに 2000 万ユーロのローンを提供していると述べた。同行は、地元企業の競争力を高めるため、野心的な開発投資プログラムを設定。ヤイラアグロ社は、アンカラに本社を、メルシンとカンザンに工場を持つ。年間総生産能力は 82 万トンで、45 カ国以上に生産物を輸出、過去 3 年間で売上高をほぼ 3 倍にした。(4 月 4 日付 HDN 紙 10 面)

【観光関連】**●2 月はロシアからの訪問客数が急増**

2 月の外国人訪問客数は前年同月比 6.5%減少し 116 万人。国別ではジョージア (14 万人)、イラン (13 万人)、ブルガリア (11 万人) の順に多い。ロシアは同 96%増加し 4 万人であった一方、ドイツは同 30%減少し 9 万 7000 人。(3 月 31 日付 HDN 紙 11 面他)

【その他】**●ゴールドマンと JP モルガン、トルコ経済の拡大を予測**

2016 年第 4 四半期及び 2016 年の GDP 成長率の発表を受け、ゴールドマン・サックス (GS) 及び JP モルガン・チェース (JP) は、2017 年のトルコの経済成長見通しを上方修正した。両社共に 1.8%と予測していたところ、GS は 2.3%、JP は 2.6%にそれぞれ上方修正した。(3 月 31 日付 AA)

治安**【ISIL関連】****●キリス県で爆発物所持の不法入国企図者等を拘束**

3 日、シリアからキリス県へ不法入国しようとした 18 名が拘束された。拘束された者の中には女性 4 名、子供 4 名が含まれていた。また、チェチン人 1 名も含まれており、同人は 1.5 キログラムの爆発物を所持し、トルコ国内でのテロを計画していた可能性が指摘されている。(4 月 4 日付 M 紙インターネット版)

【PKK 関係】**●ディヤルバクル県内の空き屋で PKK の大量の武器を押収**

1 日、ディヤルバクル県スル郡の空き家から、PKK のものと見られる大量の武器が押収された。対戦車ロケットの部品 42 個、ロケットランチャーの 48 個、AK47 自動小銃の弾丸 4,181 発等が含まれる。(3 月 31 日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は 3 月 31 日付 HDN 紙インターネット版から)

●過去 1 週間で PKK 戦闘員 99 名を無力化

1 日、トルコ国軍参謀本部は、最近 1 週間で PKK 戦闘員 99 名を無力化した旨を発表した。(4 月 4 日付 HDN 紙インターネット版)

●シュルナック県でトルコ軍兵士 3 名死亡

4 日、シュルナック県で行われた対 PKK オペレーション実施中に PKK が設置した手製爆弾が爆発し、兵士 3 名が死亡、同 5 名が負傷した。(4 月 4 日付 HDN 紙インターネット版)

●メルスィン県で警察車両に爆弾

4 日、メルスィン県で何者かによって警察車両に対して爆発物が投げつけられ、乗車していた警察官 2 名が負傷した。(4 月 3 日付 HDN 紙インターネット版)

●PYD へ供与された対戦車砲が

ハッカリ県で実施された対 PKK オペレーションにおいて、PKK が保有する 2 門の対戦車砲が没収された。同対戦車砲は、米国主導の有志連合による対 ISIL 作戦の一部として米国からシリアの YPG に供給されたスウェーデン製のものとされる。同対戦車砲は、別のオペレーションでも欧州されており、治安関係者は「PYD から、PKK に渡ったものだ」と述べた。(4 月 3 日付 HDN 紙インターネット版)



写真は 4 月 3 日付 HDN 紙インターネット版から)

【FETO 関連】

●FETO 関連拘束者数の発表

2 日、ソイル内相は、これまでの FETO 関連捜査で 11 万 3260 名が拘束され、この内、これまでの拘留者数は 4 万 7155 名であると発表した。拘留者の内訳としては、警察官 1 万 732 名、軍人 7463 名、軍将校 168 名、裁判官・検察官 2575 名、民間人 26,177 名。一方、これまでの全ての拘束者の内、65,360 名が釈放された（この内、観察処分を条件とした釈放は 41,499 名）。(4 月 3 日付 HT 紙 15 面)



(写真は 4 月 4 日付 HDN 紙インターネット版から)

●裁判官・検察官 45 名が解職処分

3 日、裁判官・検察官高等評議会は、FETO 捜査に関連し、裁判官・検察官合計 45 名を解職処分にしたことを発表した。(4 月 4 日付 HDN 紙インターネット版)

●クルチダヴォール CHP 党首：AKP 内のパイロック使用者隠蔽を許すな

3 日、クルチダヴォール CHP 党首は、昨年のクーデター未遂事件に関し、政府が関与しているとした上で、「AKP 内のパイロック使用者は 120-180 名いる。彼らの名前を隠蔽せずに公表すべきだ。クーデター未遂事件は、政府によってコントロールされたていた」と述べた。(4 月 4 日付 C 紙 4 面)

●メラル・アクシェネル氏の顧問が FRT0 容疑で拘束

5 日、MHP の元議員政治家で、同党を除名された女性有力な政治家メラル・アクシェネル氏の顧問が FETO 関係者であるとの容疑で拘束された。(4 月 6 日付 HT 紙 15 面)

【その他】

●対極左団体オペレーション

5 日、イスタンブール県内 5 カ所、及びアンカラ県、イズミル県において極左団体を対象としたオペレーションが行われ、MLKP (マルクスレーニン主義共産党) と極左テロ組織の DHKP-C のメンバー合計 7 名が拘束された。(4 月 6 日付 HT 紙インターネット版)

軍事

●ユーフラテスの盾作戦の結果を発表

3 月 30 日、トルコ国軍参謀本部は、216 日間に渡って行われた「ユーフラテスの盾作戦」の結果について、トルコ軍兵士の死者は 67 名、同負傷者は 245 名、自由シリア軍の死者は約 600 名に達したと発表した。(3 月 31 日付 H 紙インターネット版)

●アカル参謀総長ら南東部を視察

4 月 3 日、アカル参謀総長はディヤルバクル県を訪問し、同県知事との会合を行った他、PKK との激戦地となったスル郡の復興状況等を視察し、ビジネスマンとの昼食会等を実施した。(4 月 3 日付 HDN 紙インターネット版)

●エルドアン大統領、イラクでの新しい軍事作戦に言及

4 日、エルドアン大統領はテレビ番組で、ユーフラテスの盾作戦の終結に関して、今後のイラク・シリアでの軍事作戦の実施可能性に言及した上で、特に、シンジャールについて、「現状は酷く、PKK テロリスト 2500 人が第 2 のカンディールを作ろうとしている。」等述べた。(4 月 5 日付 HT 紙 14 面)

社会

●イスティニエ〜チュブクル間を運航のフェリーは乗客 1 万人を運ぶ

イスタンブール市が新たに導入したイスティニエ〜チュブクル間を運航する車両積載型の大型フェリーが注目を集めている。従来の交通手段と比較して、時間的には 8 分間の短縮を実現し、運航開始から 1 週間で 8579 台の車と 1 万人の乗客を運んだ。今後、アジア〜ヨーロッパ間を繋ぐ大橋の渋滞緩和が期待されている。今後は年間 4 万回の運航で車両 170 万台、乗客 250 万人を運ぶ予定。

(3 月 31 日付 HT20 面他)

●ミニバス・タクシー、ドルムシュにも監視カメラ

イスタンブール市は、事件・事故などを監視・記録を取る目的でメトロとバスに設置したカメラを、ミニバス、タクシー、ドルムシュにも設置を義務づけることを決定した。GPS システムとパニック・ボタン（非常用ボタン）も設置し、各車両は 24 時間体制で公共交通局の監視下に置かれる。(4 月 3 日付 HT21 面)

●高校生のロボット製作チーム、アメリカで「賞」を受賞

3 月 7-11 日に米国オハイオ州で開かれたファースト・ロボット・コンペティションでイスタンブールのヒサル高校のチーム「ヒサル・ラヴェンス」が参加し、「ルーキー・オール・スター賞」を受賞、4 月 19 日〜ヒューストンで開かれる世界大会に出場の権利を得た。大会には世界 80 か国から 4 万 4 千チームが参加する。(4 月 3 日付 HT18 面)

●近隣住民の手によって高齢女性を救出、夫は死亡

サルエル地区の貧困地区で昨 3 日夜に発生した火事により 1 人が死亡、1 人が負傷した。アヤズアー地区の 113 番通り 43 番地にある貧困地区で夜中の 3 時頃に不審火があり、異変に気づいた近隣住民が消防と警察に通報。火は短時間で燃え広がり、住人夫妻は家から避難出来なくなった。近隣住民が救助活動を行ったが、夫の死亡が確認された。

(4 月 4 日付 HT18 面)

●ハリチ（湾）に建設予定の海底トンネルは 3 車線

トプバシュ・イスタンブール市長は、自身が 2014 年の市長選挙で公約していた「ハリチ海底トンネル計画」を明らかにした。深さ 80 メートルに 44 本の杭を打ち込み、その

上にトンネルが建設される。トンネルは、35メートル四方の正方形の形で、往路・復路共に3車線ずつ車道が整備される。トプバシュ市長は、将来的には、現在のアタテュルク（ウンカプ）橋を取り壊し、この海底トンネルのみを残す考え。（4月5日付 HT19 面）



（4月4日付 HT 紙インターネット版）

●中国人旅行者がタクシーで2キロ、280リラの請求を受ける

イスタンブールの世界貿易センターで開催されていた見本市（フェア）に参加していた中国人旅行者のファさんは空港での正規の乗り場でないところでタクシーに乗り目的地に向ったところ、2キロの道のりにも関わらず280リラも支払うはめになった。ファさんと一緒に仕事を行っている友人によると、ファさんは最初5ドル札で支払いを行おうとしたが、運転手に拒否された為、100ドル札を渡した。運転手は100ドルに対して85リラのおつりをファさんに渡した。ファさんはだまされた事を知り、タクシー運転手からの謝罪を待っている。アタテュルク空港タクシー協会のジャン会長は、空港では正規のタクシー乗り場以外の場所でタクシーに乗らないよう注意喚起を行った。※100ドル＝371リラ（4月5日時点）（4月6日付 HT23 面）

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（現与党）	OİB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装置車
İHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公社
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İŞİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイード系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜYİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Ghan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2017.1.1～2017.4.6 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃	盗	詐	欺	ぼったくりバー	高額絨毯購入(相談)		
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2016年		7件		2件		24件		2件
2017年	0件	1件	0件	0件	1件	4件	0件	0件

- 今週はぼったくりバーの被害が一件ありました。

★当館 HP 更新のお知らせ★

- 「海外安全対策情報（2017年01月～03月）」(04/04)
- 書道家：鈴木猛利「書の世界」の実施 (4/6)
- 「和食の世界へようこそ！」の実施 (4/6)
- 日本・トルコ未来対話 2017（バフチェシェヒル大学）(4/3)
- 日本・トルコ未来対話 2017（イスタンブール工科大学）(4/3)
- イスタンブール・カパタシュ高校日本デー (4/3)